

## 巻 頭 言

藤 永 太一郎\*

丁度2年前、石橋雅義先生の御遺志を継いで「海洋化学研究」第1巻第1号を発刊して以来、予定通り、毎年2冊ずつ出版して茲に第3巻第1号を発刊できることになりました。これひとえに研究会員各位の御協力と賛助会員の御援助の賜であり厚く御礼申し上げます。

また、昭和61年創設されました海洋化学学術賞（石橋賞）も既に2回の受賞者を出しておりますが、今年その第3回授賞として坪田博行氏（広島大学総合科学部教授）の「海洋評価の方法論的研究」を決定致しており、恒例通り、4月28日その授賞式を京大楽友会館において挙行する運びになっております。この機会に多くの優れた候補者を御推薦下さいました会員各位並びに誠実な御審査を頂きました学術賞選考委員会の各位に厚く御礼を申述べます。

併て、本第3巻第1号の発刊にあたっては、かねて石橋先生記念講演会で特別講演を下さいました演者の各位から優れた内容の最近の斯学の進歩について玉稿をお寄せ下さいました。益々「海洋化学研究」が充実し読みごたえのある内容になってきたものと自負致します。

なお4月28日には坪田教授の上記授賞講演と共に伊豆津公佑氏（信州大学理学部教授、昭和62年度日本分析化学会学会賞受賞者）の講演が予定されております。会員各位には本研究所総会、学術賞授賞式に御出席下さりまして上記講演を御聴講頂きたく存じます。

なお、授賞式講演会及びそのパーティー（有料）に就いては一般公開致しております。本第3巻第1号をその際販布できる予定であります。研究所の研究会員は上記学術賞候補の推薦者となり、会誌「海洋化学研究」への投稿を行ない、同誌を講読することができます。この機会に研究会員への御参加をお勧めすると共に、会員各位にも関係方面への御推薦をお願いする次第です。

追記．先号で紹介しました本研究所で発見し研究中の $H_2S$ を用いるペプチド合成は、(1)生命起源論、(2)特定アミノ酸の新合成法、(3)生物飼料調製、といった幅広い立場で続けられ、夫々成果が挙りつつあります。しかし課題の茫大さに鑑み、広く協力を得たいと考えますので御関心の向は照会下されば幸いです。

---

\* （財）海洋化学研究所 理事長